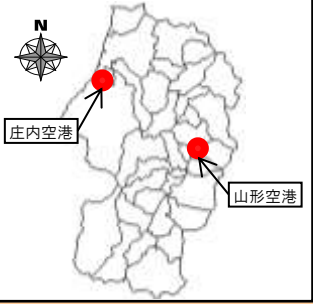


空港施設長寿命化修繕計画(空港安全対策事業)【山形空港・庄内空港】

●事業概要

山形空港及び庄内空港においては前回の大規模改修工事から16年が経過し滑走路、誘導路、エプロンの施設に経年劣化による損傷が増え修繕費用の増加が見込まれる。両空港では軽微な補修の「事後保全」を進めながら、国庫補助事業採択のための調査を実施し「予防保全」の計画を進める「空港施設長寿命化修繕計画」を策定し、年次計画に沿った修繕によって、安全で適切な空港運営を実施するものである。

位置図



【空港施設長寿命化】
事業内容
路面性状調査
アスファルト補修
ひび割れ注入工
パッチング・局部打換工
コンクリート補修
事業期間
山形空港 H28～R4
庄内空港 H29～R5

エプロン損傷状況



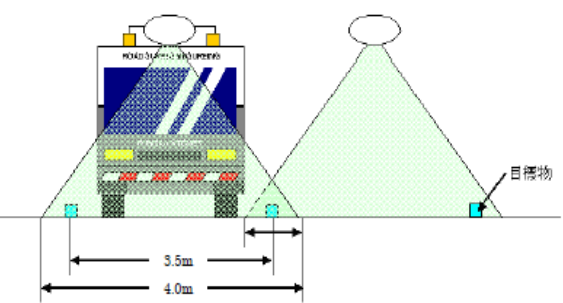
滑走路ひび割れ状況



山形空港平面図



路面性状調査



ひび割れ注入工施工例



事業効果

計画的に修繕を行うことで、総合的な維持管理コストの平準化を図るとともに、航空機利用者の安全・安心を確保する。